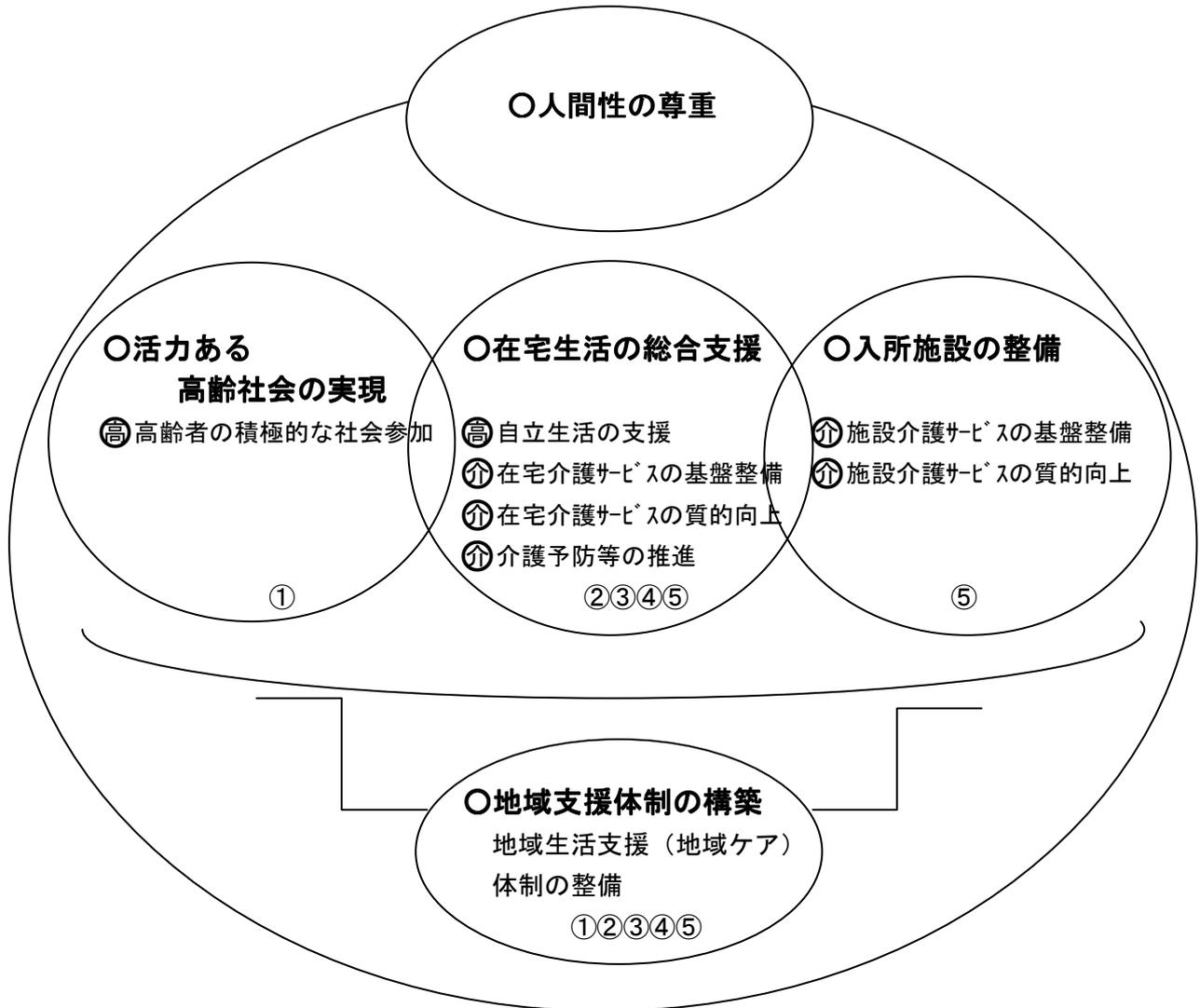


《高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画の施策の体系》

基本理念 地域で支えあい、高齢者が住み慣れたわがまち能代で、
いつまでもいきいきと安心して暮らせるまちづくり

基本理念のもと、元気な高齢者から介護が必要な高齢者まで、地域全体で支え、高齢者の人間性を尊重したまちづくりを目指して施策を展開します。



注 Ⓜ：主に高齢者福祉計画に関する施策 Ⓜ：主に介護保険事業計画に関する施策

①～⑤：能代市総合計画における施策の方向

- 地域で活躍する元気な高齢者
 - ① 高齢者が活躍できる環境を整える。
 - ② 高齢者の地域生活を支援する。
 - ③ 介護予防を行う。
 - ④ 高齢者福祉施設の体制を整える。
- 不安のない生活を支える社会保障制度
 - ⑤ 介護保険制度を適正に運用する。

3 計画の主要課題と対応

○目標 1 活力ある高齢社会の実現

施策Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加

明るく活力に満ちた高齢社会を確立するためには、高齢者自身が地域社会の中で自らの経験と知識を活かして積極的な役割を果たしていくような社会づくりが重要です。このため、高齢者が就労や様々な社会活動へ参加するとともに、健康な高齢者については、介護の担い手としても活躍していくことが期待されます。

高齢者の多様性・自発性を十分に尊重しながら、老人クラブや様々な自主的な団体の活動の立ち上げや発展に対して、各種支援を検討していきます。

○目標 2 在宅生活の総合支援

施策Ⅱ 自立生活の支援（介護保険法定以外）

高齢者の自立生活を支援するため、増加する高齢者人口やニーズに対応した、持続可能な高齢者福祉サービスを実施するとともに、必要な福祉施設サービスを実施します。

(1) 高齢者福祉サービスの見直し

更なる高齢化の進展や厳しい財政状況が見込まれる中、すべてのサービス水準を維持することは困難であり、市民ニーズの把握や事業効果の検証をしながら、より効果的な事業については重点的に取り組むことが出来るよう、サービスの見直しを進めます。

(2) 福祉施設整備の推進及び見直し

養護老人ホーム、生活支援ハウスなどの介護保険以外の施設サービスを維持するとともに、需要に対応した有料老人ホーム、高齢者賃貸住宅など、民間等における施設整備の取組を促進します。また、老朽化した保養施設等のあり方について見直しを進めます。